

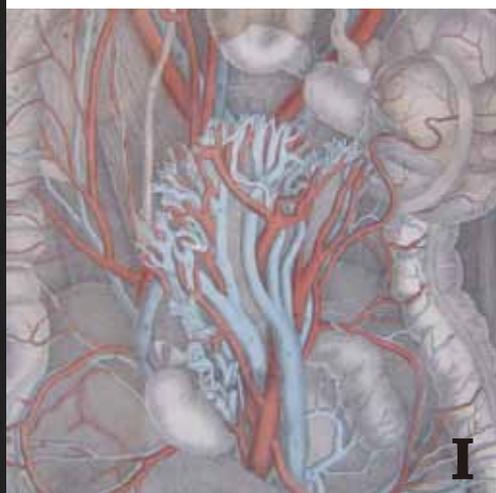


**金** 沢大学資料館には、医学部などから移管された多くの医学教示図があります。これらは資料整理の過程で再発見された、いわば「掘り出し物」です。これらはパワーポイントはもちろん、写真スライドも使われていなかった時代に視覚教材として極めて重要な役割を担っていました。およそ100年前の医学解剖図は教示図としての価値にとどまらず、美術的な観点や印刷史の観点からも非常に貴重な資料といえます。本企画展では、金沢医学専門学校やその前身校である第四高等中学校医学部などで使われていた医学教示図を中心に展示します。

金沢大学資料館企画展

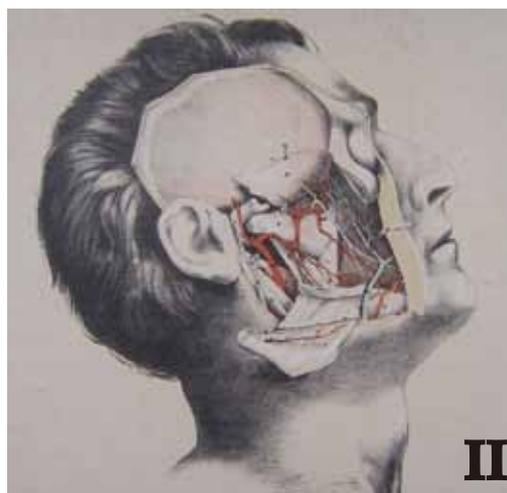
# 解剖図 の 美

— 医学解剖図と明治期の掛図 —



I

**明** 治期の医学教示図はその多くが版画で描かれています。展示品の中にみられる版画の技法はエングレーヴィング（直接法金属凹版画）やリトグラフ（石版画）が主に使われています。特に彩色リトグラフは明治期において最新の図版印刷技術で、安価な大量印刷が可能にしました。



II

**ヨ** ーロッパから輸入された図版が多い中、日本国内で製作された医学解剖図もあります。成医学学校蔵版の『人体局所解剖図』（15点を展示）は、明治20年代はじめに国内で作られた貴重なリトグラフによる解剖図です。また、明治後期の医学生が描いた解剖図も展示しています。



III

**教** 育掛図には貴重なものが多く存在します。第四高等学校旧蔵の資料には、医学、歴史学、数学、生物学、建築学、農学、教育学などさまざまな分野の教示図が無数にあります。当時の視覚教材のあり方をご覧いただくために、これらの中からも展示します。



IV



資料館 HP のヴァーチャル・ミュージアムでも第四高等学校旧蔵教育掛図をご覧いただけます。<http://kuvm.kanazawa-u.ac.jp/>



V

図版：I. ウェーバー《解剖図》15図（部分）、エングレーヴィング、1900年頃、ドイツ。／II. 成医学学校蔵版《人体局所解剖図》第二十図（部分）、リトグラフ、1890年頃、日本。／III. クリスチャン・ウィルヘルム・ブラウネ《静脈図》、彩色リトグラフ、19世紀後半、ドイツ。／IV. 成医学学校蔵版《人体局所解剖図》第三図、リトグラフ、1890年頃、日本。／V. ウィルソン《学校と家庭》掛図第十七図動物：鳥類（部分）、1862年刊行、アメリカ。

会場：金沢大学資料館 会期：平成24年7月9日（月）～平成24年9月28日（金） 入場料：無料

開館時間：10時～16時（入館は15時45分まで）平日のみ開館\*8月13、14、15日は休館